

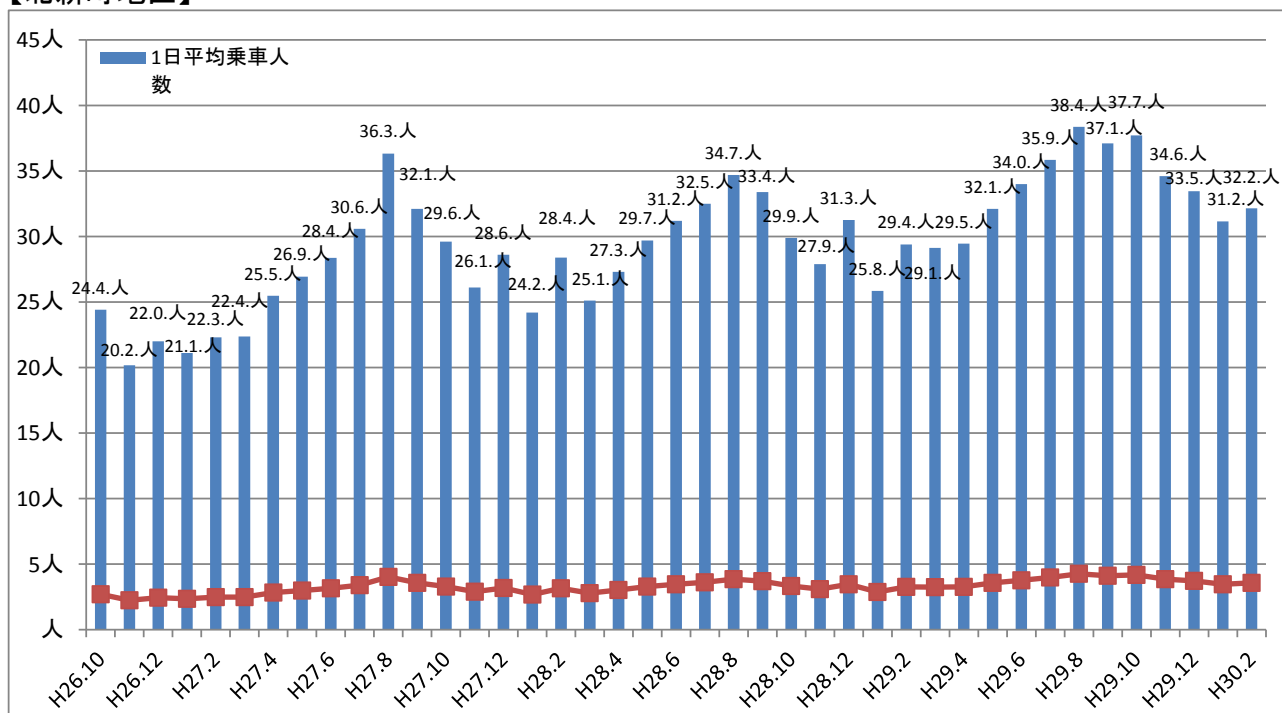
北新町地区・萩の台地区 実証運行の状況

資料1-1

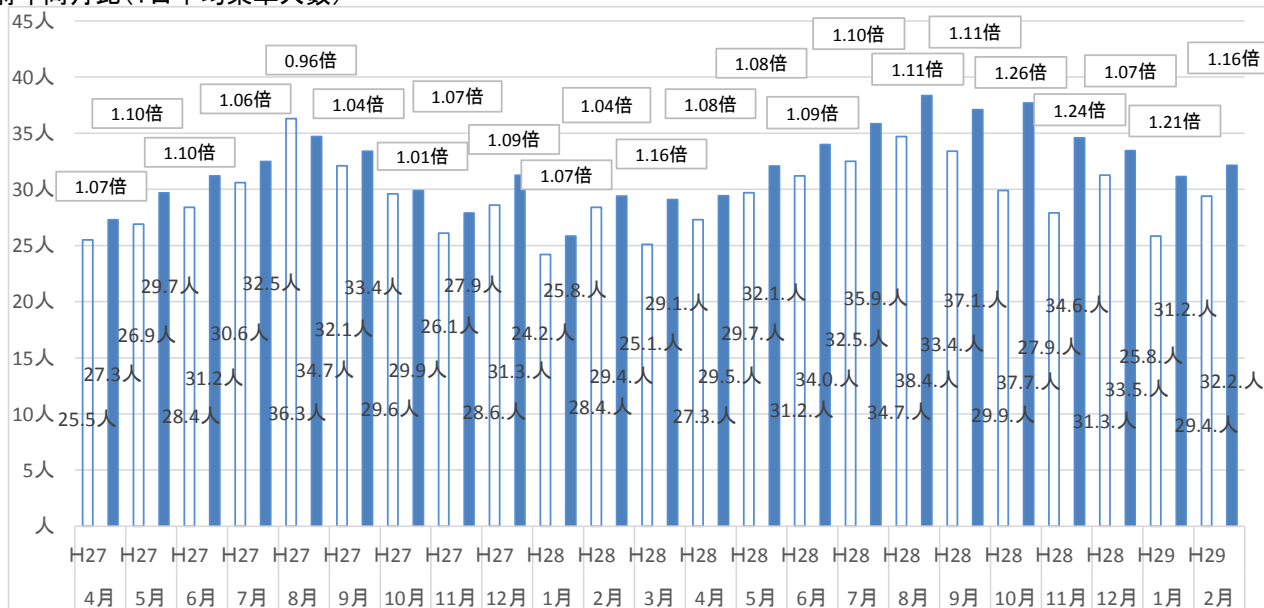
路線	①日平均利用者数	②計画策定時の予測	①/②
	H26.10～H30.2		H26.10～H30.2
北新町線	16.8～38.4人	35人/日	0.58～1.09
萩の台線	7.4～35人	75人/日	0.10～0.44

※ 日平均利用者数は、月単位で最も少なかった月～最も多かった月の値を記載。

【北新町地区】

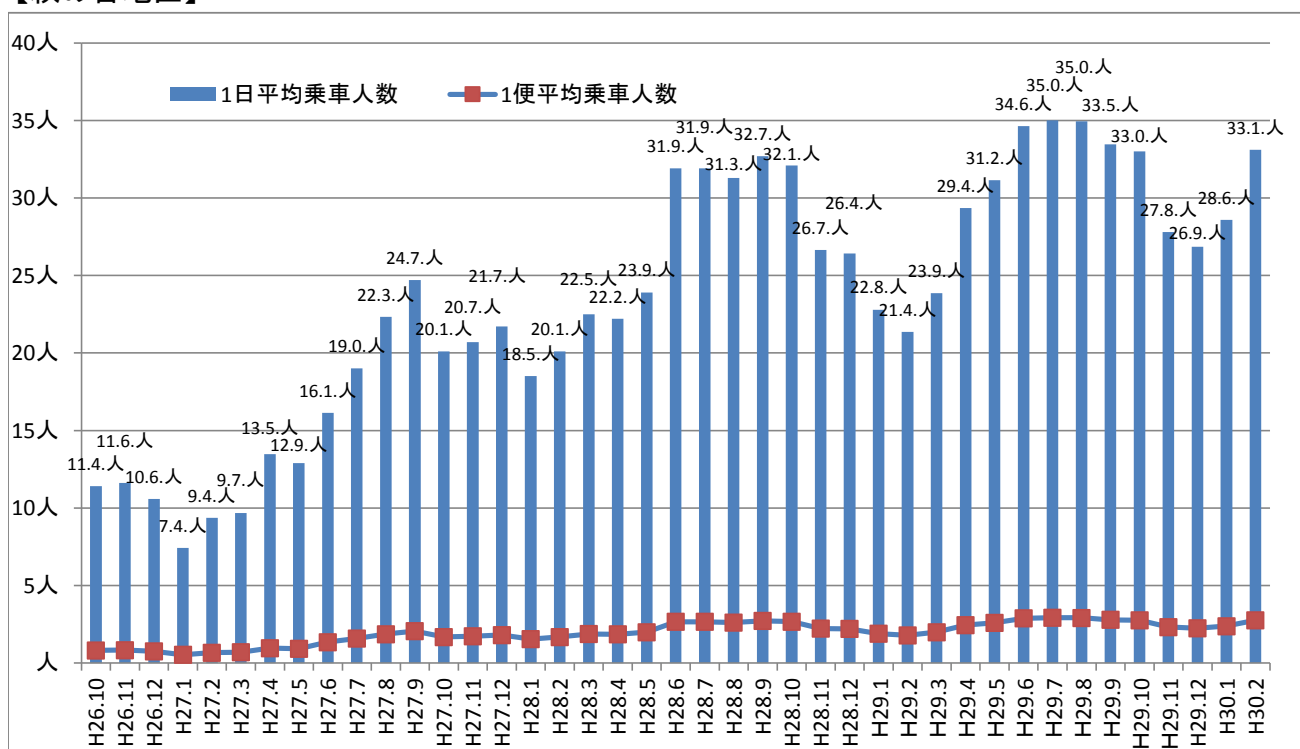


前年同月比(1日平均乗車人数)

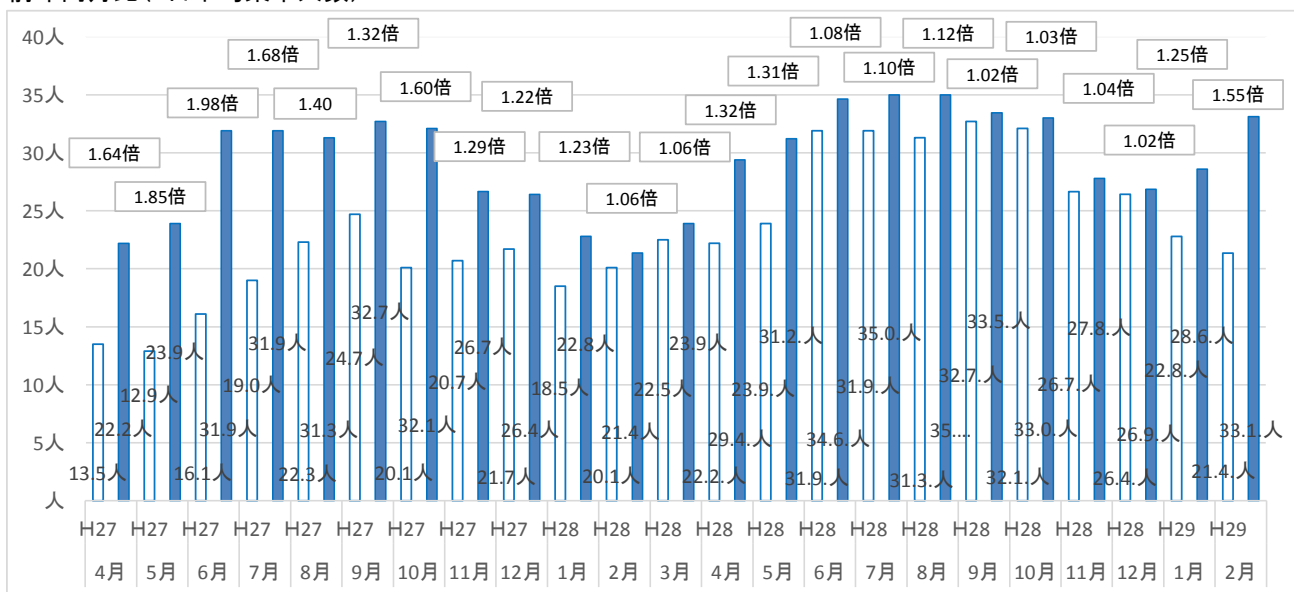


平成27年6月からの市立病院への延伸の効果もあり、平成27年8月に当初予測を上回ることとなり、それ以降季節変動による冬場の乗降者数の減少なども見受けられるが、地元自治会のコミュニティバスの利用促進への協力もあり、前年度と比べると乗車人数は増えている。全体的に増加傾向であり、H29年8月には38.4人と最高乗車数を更新した。

【萩の台地区】



前年同月比(1日平均乗車人数)



平成28年6月からの運行経路の見直しにより、萩の台内を迂回するルートが解消されることによる利便性の向上や、地元自治会のコミュニティバスの利用促進への協力もあり、季節変動や災害の影響と見受けられる乗車数の減少などもあるものの、近鉄の臨時ダイヤに対応してコミバスのダイヤも適宜修正することで、例年乗車数が落ち込みやすい2月の乗車数が前年度と比べると大きく伸びている。全体的には乗車数は増加傾向であり、平成29年7、8月は35人と最大乗車数を更新した。